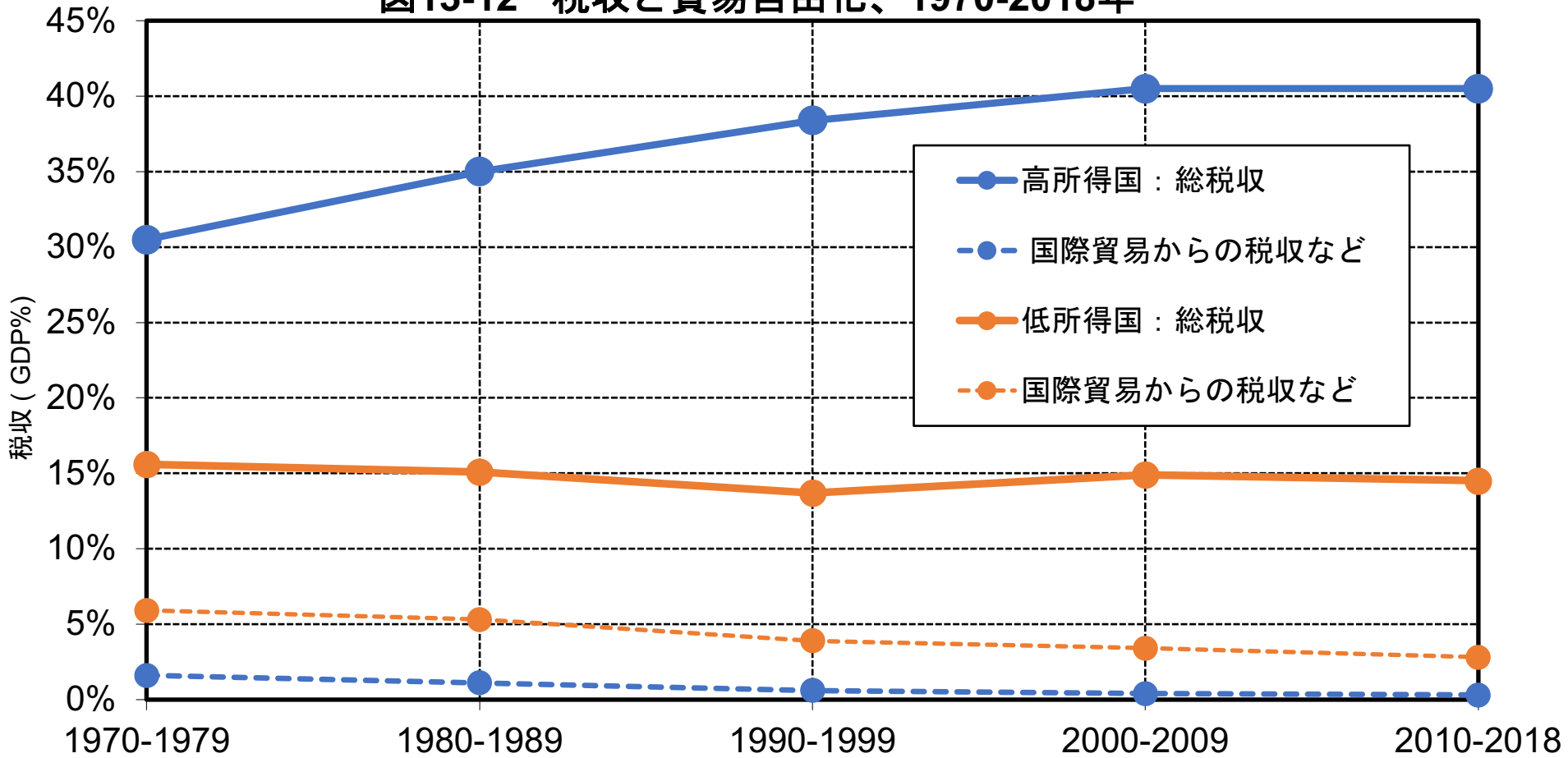


図13-12 税金と貿易自由化、1970-2018年



解説：低所得国（底辺3分の1。サハラ以南アフリカ、南アジア等）では、税金は1970-1979年の対GDP比15.6%から、1990-1999年に13.7%、2010-2018年には14.5%に減少した。補償のないまま国際貿易の関税や他の税を下げたことが一因だ（それらの税金は1970年代にGDPの5.9%、1990年代には3.9%、2010-2018年には2.8%だった）。高所得諸国（ヨーロッパ、北アメリカ等トップ3分の1）では、関税はこの期間の最初から非常に低く、税金は増え続けた後、安定期に入った。出所と時系列データ：piketty.pse.ens.fr/ideology 参照。